

第5期計画の目標指標(たたき台)

新規項目 5項目
見直し項目 8項目
継続項目 16項目

廃止項目 4項目
見直し項目 10項目
継続項目 16項目

第5期計画の目標指標(29項目)

施策区分	検討課題	項目	新・継
(1) 森林づくりの推進	①防災・減災のための山地災害対策の強化	1 災害3年以内復旧率	継続
		2 治山事業完了地区数	見直し
	②多面的機能向上のための針葉樹人工林の針広混交林化・広葉樹林化の推進	3 間伐実施面積	継続
		4 環境保全林での間伐面積	継続
	③森林の所有者不明問題の解決等による森林の集約化の推進	5 森林境界明確化面積	新規
		6 市町村意向調査に基づく間伐面積	見直し
	④資源の循環利用に向けた主伐後の再造林の推進(獣害対策・花粉発生源対策含む)	7 人工造林面積(再造林・拡大造林)	継続
(2) 林業・木材産業の振興	⑤効率的な木材生産の推進	8 木材生産量	継続
		9 木材生産性	継続
		10 林内路網開設延長	継続
		11 森林経営計画認定面積(千ha)	見直し
	⑥森林資源のエネルギー利用の推進	12 木質バイオマス利用量(燃料用途)	継続
	⑦成長が早く性質が優れた樹種の育種・育苗の推進	13 苗木生産量	継続
	⑧きのこなどの特用林産物の安定的な生産の推進	14 きのこと類の生産量	見直し
	⑨-1 川上・川中・川下の連携による加工・流通の体制強化	15 品質・性能が証明された木材製品の出荷量(仮)	継続
		⑨-2 大径材の活用に向けた取組の推進	
	⑩-1 住宅の新築・改修における県産材の需要拡大	16 県内外での県産材住宅の建設戸数	継続
		⑩-2 非住宅木造建築物の建設促進と県産材の需要拡大	17 非住宅施設の木造化及び内装木質化施設数
	⑩県産材の需要拡大	18 県内木材需要量(燃料用チップを除く)	継続
		19 木造建築マイスター、木造住宅アドバイザー、木造住宅相談員の認定数	新規
	⑪広葉樹の付加価値を高めた活用の推進	20 県産広葉樹の原木生産量	新規
	⑫次世代を担う技術者の育成	21 森林技術者数	継続
		22 3年目定着率	見直し
		23 林業労働災害の発生件数	継続
		24 森林文化アカデミー森と木のエンジニア科の県内就職率(%)	継続
	(3) 森林の新たな活用	⑬森林の多面的活用 多様化する企業ニーズと連携した森林の活用(森林サービス産業・G-クレジット含む)	25 森林の環境価値に着目した企業等と連携した森林づくり支援数
26 森林サービス産業の従事者数			見直し
27 G-クレジット認証量			新規
⑭ぎふ木育の推進		28 (仮称)ぎふ木育協定締結企業数	見直し
		29 小中高特別支援校における「ぎふ木育」実施校数	見直し

第4期計画の目標指標(30項目)

項目	新・継
山地災害箇所3年以内復旧率(%)	継続
事前防災地区数(地区)	見直し
間伐実施面積(ha)	継続
環境保全林での間伐面積(ha)	継続
市町村による間伐面積(ha)	見直し
人工造林面積(再造林・拡大造林)(ha)	継続
観光景観林整備面積(ha)	廃止
危険木の除去箇所数(箇所)	廃止
木材生産量(千m3)	継続
木材生産性(m3/人・日)	継続
林内路網開設延長(km)	継続
木材生産林における森林経営計画認定面積(千ha)	見直し
木質バイオマス利用量(燃料用途)(千m3)	継続
苗木生産量(万本)	継続
GAP等実践者数(きのこ)(経営体)	見直し
品質・性能が証明された木材製品出荷量(千m3)	継続
県内外での県産材住宅の建設戸数(戸)	継続
ぎふの木で家づくり協力工務店数(社)	廃止
非住宅施設の木造化及び内装木質化施設数(施設)	継続
県内における県産材需要量(千m3)	継続
県産材製品の輸出量	廃止
森林技術者数(人)	継続
新規就業者数(人)	見直し
林業労働災害の発生件数(件)	継続
森林文化アカデミー森と木のエンジニア科の県内就職率(%)	継続
森林サービス産業を推進する協議会会員数(者)	見直し
森林サービス産業起業家数(者)	見直し
「ぎふ木遊館」入館者数(人)	見直し
ぎふ木育サポーター登録者数(人)	見直し
ぎふ木育教室・緑と水の子ども会議参加人数(人)	見直し